

安全データシート(SDS)

【混合物用（塗料用）】

1 化学品及び会社情報

製品名	ベーステクトNEO トップコート
会社名	株式会社 藤倉
住所	東京都台東区台東3-43-10 佐藤ビル303号室
電話番号	03 (6803) 2183
FAX番号	03 (6803) 2184
製品の種類	水系エマルジョン塗料
主な用途	住宅基礎仕上塗材

2 危険有害性の要約

GHS分類

急性毒性	経口	区分外
	経皮	区分外
	吸入: 気体	分類できない
	吸入: 蒸気	区分外
	吸入: 粉じん又はミスト	分類できない
皮膚腐食性及び皮膚刺激性		分類できない
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性		分類できない
呼吸器感作性	固体/液体	区分外
	気体	分類できない
皮膚感作性		区分外
生殖細胞変異原性		区分2
発がん性		区分1 A
生殖毒性		区分外
授乳に対する又は授乳を介した影響		分類できない
特定標的臓器毒性(単回ばく露)		区分2
特定標的臓器毒性(反復ばく露)		区分1
吸引性呼吸器有害性		区分外
水生環境有害性(急性)		分類できない
水生環境有害性(慢性)		区分外
オゾン層への有害性		分類できない

特定標的臓器毒性: 危険有害性情報 (単回ばく露)

区分1

区分2

臓器 (中枢神経系, 腎臓, 血液系)の障害のおそれ

区分3

(反復ばく露)

区分1

長期にわたる, 又は反復暴露による臓器 (腎臓, 免疫系)の障害

区分2

GHSラベル要素
絵表示



注意喚起語
危険有害性情報

危険
発がんのおそれ
臓器の障害のおそれ
遺伝性疾患のおそれの疑い
長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害

注意書き

《安全対策》

使用前に取扱説明書を入手すること。
全ての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。
粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
取扱い後は…よく洗うこと。
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。

《応急措置》

吸入した場合：被災者を直ちに空気の新鮮な場所に移す。
皮膚に付着した場合：付着した衣類、靴を脱ぎ、付着部を拭き取り、水と石鹸でよく洗う。皮膚刺激が生じた場合医師の診断、手当てを受けること。
眼に入った場合：清浄な水で最低15分間以上目を洗浄した後、直ちに眼科医の診断、手当てを受けること。

《保管(貯蔵)》

施錠して保管すること。

《廃棄》

産業廃棄物として都道府県知事の許可を受けた廃棄物処理業者に委託処理する。
内容物／容器を法令に従って適切に廃棄すること。

3 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 混合物

組成及び成分情報

成分名	含有率(%)	CAS番号	安衛法通知物質	化管法
水	30.0 ～ 40.0 %	7732-18-5		
アクリル・スチレン共重合体	20.0 ～ 30.0 %	非開示		
結晶性シリカ	15.0 ～ 20.0 %	14808-60-7	○	
炭酸カルシウム	10.0 ～ 15.0 %	471-34-1		
酸化チタン	5.0 ～ 10.0 %	13463-67-7	○	
エチレングリコール	1.5 ～ 2.5 %	107-21-1	○	
2,2,4-トリメチルヘキサン-1,3-ジオールモノイソブチレート	1.0 ～ 2.0 %	25265-77-4		
非イオン性界面活性剤	0.2 % 未満	非開示		
特殊ホリカルボン酸型高分子界面活性剤	0.2 % 未満	非開示		
有機窒素系化合物	0.1 % 未満	非開示		
チアゾリン化合物	0.1 % 未満	非開示		
デカン二酸ビス[2,2,6,6-テトラメチル-1(オクタヒドロキシン)ピペリジン-4-イル]	0.1 % 未満	非開示		
アソモニウム水	0.1 % 未満	1336-21-6		
珪砂	15.0 ～ 20.0 %	非開示		

4 応急措置

吸入した場合	蒸気、ガスなどを吸い込んで、気分が悪くなった場合には、空気の新鮮な場所に移し、しやすい姿勢で休息させること。 症状が改善しない場合は、医師に連絡すること。
皮膚に付着した場合	付着物を布にて素早くふき取る。 大量の水及び石鹼又は皮膚用の洗剤を使用して十分に洗い落とす。 溶剤、シンナーは使用しないこと。 外観に変化が見られたり、刺激・痛みがある場合、気分が悪いときには医師の診断を受けること。
眼に入った場合	直ちに大量の清浄な流水で15分以上洗う。 コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。 まぶたの裏まで完全に洗うこと。 できるだけ早く医師の診断を受けること。
飲み込んだ場合	誤って飲み込んだ場合には、安静にして直ちに医師の診断を受けること。 嘔吐物は飲み込ませないこと。 医師の指示による以外は無理に吐かせないこと。

5 火災時の措置

使用可能消火剤	全ての消火剤
消火方法	このもの自体に可燃性はない。 周辺火災に対応して、消火活動を行う。

6 漏出時の措置

人体に対する注意事項、 保護具及び緊急措置	作業の際には適切な保護具(保護手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル等)を着用する。 屋内では換気をしっかり行う。屋外の場合には、できるだけ風上から作業を行う。 周辺を立ち入り禁止にして、関係者以外を近づけないようにして二次災害を防止する。
環境に対する注意事項	河川への流出等により、環境への影響を起ささないように注意する。
封じ込め及び浄化の 方法・機材	漏出物は、密封できる容器に回収し、安全な場所に移す。 付着物、廃棄物などは、関係法規に基づいて処置すること。 スコップ・ウエス等で回収する。大量の流出には盛土などで流出を防ぐ。 水での洗浄なども、河川等への流出、環境汚染を引き起こす恐れもあり注意する。

7 取扱及び保管上の注意

取扱上の注意	換気の良い場所で取り扱う。容器はその都度密栓する。 皮膚、粘膜、又は着衣に触れたり、目に入らぬよう保護具を着用する。 過去にアレルギー症状を発症している人は取り扱わないこと。 取扱後は手・顔等は良く洗い、休憩所等に手袋等の汚染保護具を持ち込まない。
保管上の注意	日光の直射を避ける。通風のよいところに保管する。 盗難防止のために施錠保管する。 子供の手の届かないところに保管する。

8 ばく露防止及び保護措置

管理濃度及び許容濃度(危険有害性物質を対象)

成分名	管理濃度	ACGIH(TLV)
酸化チタン		10 mg/m ³
炭酸カルシウム		10 mg/m ³
酸化第二鉄(赤色酸化鉄)	2.9(Fe) mg/m ³	10(Fe) mg/m ³
水和酸化第二鉄(黄色酸化鉄)	2.9(Fe) mg/m ³	10(Fe) mg/m ³
エチレングリコール		C100(エアロゾル) mg/m ³
カーボンブラック		3.5 mg/m ³

設備対策 屋内塗装作業の場合は、自動塗料機等を使用する等、作業者が直接ばく露されない設備にするか、局所排気装置等により作業者がばく露から避けられるような設備にすること。

保護具

- 呼吸器の保護具 作業を行う場合には、適切な保護マスクを着用すること。
- 手の保護具 有機溶剤又は化学薬品が浸透しない材質の手袋を着用する。
- 眼の保護具 取扱には保護メガネを着用する。
- 皮膚及び身体の保護具 取扱う場合には、皮膚を直接曝させないような衣類を着けること。また、化学薬品が浸透しない材質であることが望ましい。

9 物理的及び化学的性質

状態	液体
色	各色
臭い	僅かに溶剤臭
pH値	- ~ -
沸点、初留点及び沸騰範囲	-
引火点	-
燃焼または爆発範囲の上限・下限	-
蒸気圧	-
比重(相対密度)	-
溶解度	-
n-オクタノール/水分配係数	-
分解温度	-
粘度	- ~ - dPa's
その他	-

10 安定性及び反応性

安定性	通常の手扱い条件においては安定である。 水と混和する(発熱はしない)。
危険有害反応可能性	通常の手扱いにおいては反応性はない。
避けるべき条件	凍結・高温を避ける。
混触危険物質	情報なし
危険有害性のある分解生成物	この製品自体は燃焼しないが、塗膜が燃えた場合、CO等の有害ガスの発生の恐れがある。
その他危険性情報	特になし

11 有害性情報

製品に関する有害性情報 製品としての安全試験は行っていない

成分の健康有害性情報(危険有害性物質を対象)

成分名	急性毒性					
	経口	急性毒性値 (LD50) (mg/kg)	経皮	急性毒性値 (LC50) (mg/kg)	気体	急性毒性値 (LC50) (ppmV)
結晶性シリカ	分類できない		分類できない		分類対象外	
酸化チタン	区分外		区分外		分類対象外	
エチレングリコール	区分外		区分外		分類対象外	
2,2,4-トリメチルペンタン-1,3-ジオールモノイソブチラート	区分外		区分外		分類対象外	
有機窒素系化合物	区分外		分類できない		分類できない	
チアゾリン化合物	区分5		区分外		分類できない	
アンモニア水	区分4	350	分類できない		分類対象外	

成分名	急性毒性					
	蒸気	急性毒性値 (LC50) (ppm)	急性毒性値 (LC50) (mg/L)	粉じん又はミ スト	急性毒性値 (LC50) (ppm)	急性毒性値 (LC50) (mg/L)
結晶性シリカ	分類対象外			分類できない		
酸化チタン	分類対象外			区分外		
エチレングリコール	分類できない			区分4		3
2,2,4-トリメチルペンタン-1,3-ジオールモノイソブチラート	分類できない			区分外		
有機窒素系化合物	分類できない			分類できない		
チアゾリン化合物	分類できない			分類できない		
アンモニア水	分類できない			分類できない		

成分名	皮膚腐食性及び 皮膚刺激性		眼に対する重篤な 損傷性又は眼刺激性		呼吸器感作性	
	皮膚区分		眼区分		固体/液体	気体
結晶性シリカ	分類できない		分類できない		分類できない	
酸化チタン	区分外		分類できない		分類できない	
エチレングリコール	区分2		区分2B		分類できない	
2,2,4-トリメチルペンタン-1,3-ジオールモノイソブチラート	区分外		区分2B		分類できない	
有機窒素系化合物	区分2		区分2A		分類できない	分類できない
チアゾリン化合物	区分1A		区分1		分類できない	分類できない
アンモニア水	区分1		区分1		分類できない	

成分名	皮膚感作性	生殖細胞変異原性	発がん性	生殖毒性	
					授乳に対する又は授乳を介した影響の追加区分
結晶性シリカ	分類できない	区分2	区分1A	分類できない	
酸化チタン	区分外	分類できない	分類できない	分類できない	
エチレングリコール	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない	
2,2,4-トリメチルペンタン-1,3-ジオールモノイソブチレート	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない	
有機窒素系化合物	区分1	分類できない	区分2	区分2	
チアゾリン化合物	区分1	分類できない	区分外	区分外	
アンモニア水	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない	

成分名	特定標的臓器毒性					吸引性呼吸器有害性
	(単回ばく露)			(反復ばく露)		
	区分1物質	区分2物質	区分3物質	区分1物質	区分2物質	
結晶性シリカ	分類できない	分類できない	分類できない	区分1(呼吸器、免疫系、腎臓)(*)		分類できない
酸化チタン	分類できない	分類できない	分類できない	区分1(呼吸器)(*)	分類できない	分類できない
エチレングリコール	区分1(中枢神経系、血液系、腎臓)		区分3(気道刺激性、麻酔作用)	分類できない	分類できない	分類できない
2,2,4-トリメチルペンタン-1,3-ジオールモノイソブチレート	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない
有機窒素系化合物	区分外	区分外	区分3(気道刺激性、麻酔作用)	区分外	区分外	区分1
チアゾリン化合物	区分外	区分外	区分外	区分外	区分外	分類できない
アンモニア水	区分1(中枢神経系、呼吸器)			分類できない	分類できない	分類できない

12 環境有害性情報

成分の水生環境有害性情報(危険有害性物質を対象)

成分名	水性環境有害性			オゾン層への有害性
	(急性毒性)	(慢性毒性)	log Kow及び急速分解性	
	区分	区分		
結晶性シリカ	区分外	分類できない		分類できない
酸化チタン	区分外	区分4		分類できない
エチレングリコール	区分外	区分外	急速分解性がある。	分類できない
2,2,4-トリメチルペンタン-1,3-ジオールモノイソブチレート	区分3	区分外	急速分解性がある。LogKow = 3	分類できない
有機窒素系化合物	区分1	区分1		分類できない
チアゾリン化合物	区分2	区分2		分類できない
アンモニア水	区分2	区分外	急速分解性がある。	分類できない

- ・漏洩、廃棄などの際には環境に影響を与える恐れがあるので取扱に注意する。
- ・製品や洗浄水が地面、川や排水溝に直接流れない様に対処する。

13 廃棄上の注意

残余廃棄物、汚染容器及び包装

廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。
 廃塗料、廃溶剤、容器等の廃棄物は、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理をする。
 容器、機器装置等を洗浄した廃水等は、地面や廃水溝へそのまま流さないこと。
 廃水処理等により発生した廃棄物についても、廃棄物の処理及び清掃に関する法律及び関係する法規に従って処理を行うか、委託をすること。
 空容器は内容物を完全に除去してから処分する。
 空容器・包装等はリサイクルを推奨する。

14 輸送上の注意

共通 取扱及び保管上の注意の項の記載に従うこと。
 容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れ防止を確実に行うこと。
 陸上輸送 消防法、労働安全衛生法、毒劇物法に該当する場合は、それぞれの該当法律に定められる運送方法に従うこと。
 海上輸送 船舶安全法、海洋汚染防止法に定めるところに従うこと。
 航空輸送 航空法の定めるところに従うこと。
 国連番号 -

15 適用法令

安衛法通知物質	シリカ	酸化チタン	エチレングリコール	
化管法(第一種指定物質)				
化管法(第二種指定物質)				
その他の有害性物質		2,2,4-トリメチルペンタン-1,3-ジオールモノイソブチレート	有機窒素系化合物	チアゾリン化合物

参考文献

(社)日本塗料工業会編 「原材料物質データベース」

(社)日本塗料工業会編 「GHS対応 MSDS・ラベル作成ガイドブック 第3版」

【注意】

本データシートは、作成時または改定時において、製品及びその含有成分等に関する最新の情報(危険有害性情報・取扱情報等)を集めて作成しておりますが、全ての情報を網羅したものではありません。新たな情報を入手した場合には追加・修正を行い改訂いたします。

また、本データシートに記載のデータは、その製品を代表する値であり、保証値ではありません。

本製品を当社が認めた材料以外のものと混和、当社が認めた仕様以外の特殊な条件で使用する場合には、使用者において安全性の確認を行ってください。